

〔タウィーラB発電造水事業の概要〕

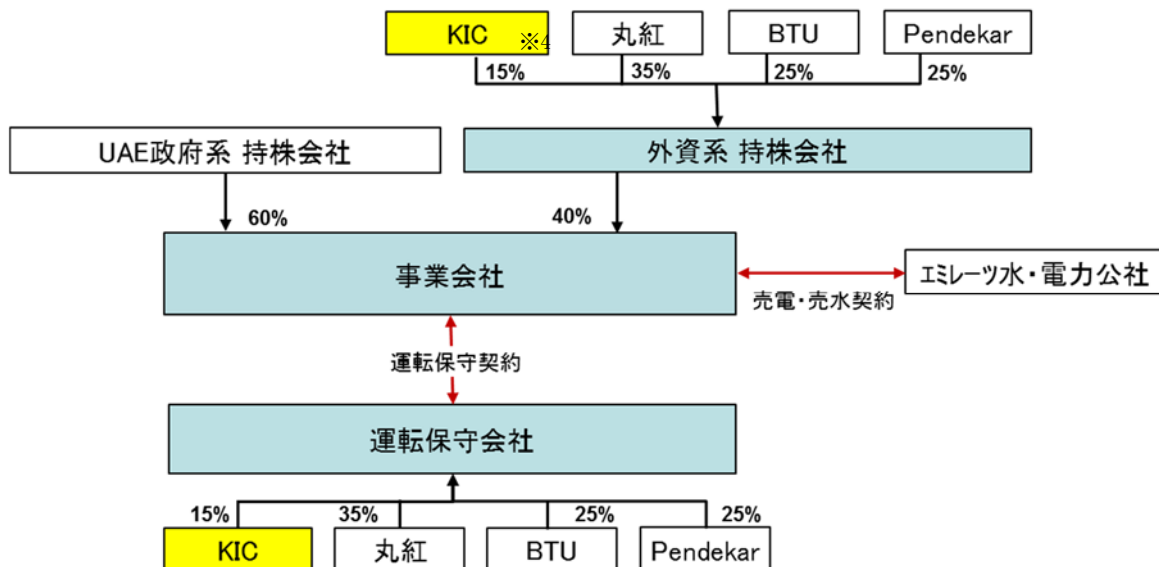
項目	概要
所在地	アラブ首長国連邦 (UAE) ・ アブダビ首長国 タウィーラ地区 (アブダビ市北東約 80km)
事業方式	B00 方式 (Build, Own and Operate)
設備容量	総発電出力 200 万 kW、総造水能力 日量 73 万トン
電力・水販売先	エミレーツ水・電力公社
燃料	天然ガス (エミレーツ水・電力公社による供給)
出資者	[事業会社] 株式会社キューデン・インターナショナル (6%)、 丸紅株式会社 (14%)、BTU <sup>※1</sup> (10%)、Pendekar <sup>※2</sup> (10%) UAE 政府系持株会社 (60%)  [運転保守会社] 株式会社キューデン・インターナショナル (15%)、 丸紅株式会社 (35%)、BTU (25%)、Pendekar (25%)
開発経緯	1995 年 1号機運転開始 } (事業主体：ADWEA) <sup>※3</sup> 2000 年 2号機運転開始 } 2005 年 1号機、2号機を事業会社が買収、改良実施 また、隣接地に事業会社が3号機を建設 2008 年 プロジェクト完工

※1 BTU Power Company 米国のインフラファンド

※2 Pendekar Power Labuan マレーシアの IPP 事業者

※3 Abu Dhabi Water and Electricity Authority (通称 ADWEA) アブダビ水電力省

〔事業スキームの概要〕



※4 株式会社キューデン・インターナショナル(Kyuden International Corporation)の略称